

連載

もう、悩まない！ 『石原健の HOTEL LOVERS』

#16

オークウッドスイーツ横浜 &
シタディーンハーバーフロント横浜
エグゼクティブ・セクレタリー
二木 さらさ 氏

第 16 回目のゲストは、「オークウッドスイーツ横浜」と「シタディーンハーバーフロント横浜」のエグゼクティブ・セクレタリーを務める二木さらさ氏。語学留学でスイスに訪れたことがきっかけで、その後の人生に転機が起こったと話す。当時を振り返りながら、ホテル業界に転職した理由や、働くモチベーションなどについて聞いた。



オークウッドスイーツ横浜 &
シタディーンハーバーフロント横浜
エグゼクティブ・セクレタリー
二木さらさ氏

スイスに語学留学したことで、
ホテル業界に興味を持つ

石原 二木さんには、4 年前に横浜市のプロモーション「ガーデンネックレス横浜」でのホテル連携イベントとして、ロビーにガーデンベアの展示をお願いした際の窓口になっていただいてから毎年お世話になっています。いよいよ横浜での万博まで 2 年を切りましたので、引き続きよろしくお願ひします。さて、まずはご自身の経歴から聞かせてください。

二木 出身が横浜市中区の元町で、横浜国立大学 教育学部附属 横浜小学校・中学校に通っていたのですが、中学 2 年生 14 歳の時に語学を極めたくなり、国連本部があり風光明媚なスイスのジュネーブにあるインターナショナルスクールへ、単身留学しました。その前年に父と二人でフランスとスイスを旅した時の印象がよかったからです。4 年間で英語とフランス語を学び、帰国後は青山女子短期大学 教養学部 フランス語専攻へと進み、卒業と同時に渋谷にあるパソコン教室に講師として就職しました。当時 (1997 年) はパソコンの出始めで一太郎・花子とロータス 123 を扱える人も少なかったで、語学と共にパソコンがこれからは必須だと考えていたからです。翌年からは形成外科と皮膚科を営む実家の医療法人で事務長としての顔も持ち、パソコンを駆使しての経理業務などを現在も続けております。そんな中で、やはり語学力を活かした仕事も行ないたいと考え、2016 年に麻布十番で海外向けコンテンツを制作するベンチャー企業の立ち上げに携わりました。

石原 語学とパソコンを活かした仕事と、実家のお手伝いを続けてこられたの

ですね。では、そこからホテリエになられたきっかけは何でしょうか。

二木 2017 年に実家の近くにある「横浜カントリー & アスレチッククラブ (YCAC)」でアドミニストレーションマネージャーとなり、アメリカ人の支配人の秘書業務を行なうこととなりました。ホテル支配人経験が豊富な方で、ホテルのホスピタリティを学ばせていただきました。クラブと医療法人では、ホスピタリティビジネスに携わり、お客さまをおもてなしすることが好きな自分を発見するよい機会となりました。また、スイスに留学していた時はヨーロッパを巡ることが多かったのですが、ホテルに泊まるという非日常体験なのにごこかほっとするおもてなしに感動したものです。そして、クラブの中にもホテル関連の方が多くおられる中で、当時「アスコット」の社長をされていたスイス人のメンバーの方からお声掛けをいただいたことが直接のきっかけです。英語が公用語である会社で社長の秘書として勤務し、2020 年 10 月に開業した「オークウッドスイーツ横浜」でオーストラリア人の総支配人秘書となり、2023 年 6 月に開業した「シタディーンハーバーフロント横浜」の総

支配人秘書も兼務し、現在に至ります。

さまざまなイベント企画に関わる
ことで、充実した日々を過ごす

石原 ホテルに勤務されて 5 年目とされましたが、秘書業務以外にも担当されていることはありますか。

二木 現在は 2 施設のイベント企画も任されています。秘書業務との兼務は大変ですが、1 から企画をして成功したときは、次は何にしようかとワクワクもします。実は YCAC の時も毎月のイベント企画を兼務していました。2019 年のラグビーワールドカップ世界大会の決勝が横浜にて行なわれた際のイベントなどを立案したことが、現在のホテルでのイベント企画に繋がっております。

石原 仕事をする中でこだわっていることはありますか。

二木 「できない」や「わからない」とは言わないことです。わからないことはきちんとリサーチして学び、何事もやってみます。そして挑戦する過程で吸収していきます。最近では AI を駆使して会議の資料を作成していますが、どんな質問がよいかなどはインターネットで情報収集をしてから臨んでいます。また、さまざまな年齢の方と知的に会話ができるよう、複数のニュースを読みます。海外からの配信も目を通し、一方向ではなく色々な視点で物事を見るように心がけています。そして、忙しい時に忘れがちですが、どんなときにも顔を見て目を見て挨拶や感謝の気持ちを伝えてオフィスの雰囲気をよく保つように心がけています。



石原 お休みの日はどんな過ごし方をされていますか。

二木 ドライブや旅行、夜は日本酒を楽しんでいます。また珍しい動物を飼うことも好きで、これまでにモモンガ・ウズラ・コリンなどを、今はペットのミークャットと過ごす時間が一番癒されてストレスもなくなります。

石原 これからの若いホテリエ達に伝えたいことは何でしょうか。

二木 多様性や個人主義など、時代が変わっていくことは多々ありますが、人とのつながりは今後も変わらないと思います。一期一会を大切に成長して欲しいです。また、働き手も含めて海外か

ら来られる方が増えたので、英語もですが、美しい日本語をしゃべれるようになってほしいです。

石原 最後に今後のビジョンを教えてください。

二木 ホテルも増える中、ブランディングやイメージも大切なので、会社の顔として地域との懸け橋になればよいです。今後も大好きな横浜の良さを知っていただき、貢献していけるように深く関わってみたいです。

石原 これからも愛する地元“横浜”の人々と共に、盛り上がるイベントを企画していただきませ。新たなご案内を楽しみにしています。



株式会社ホスピタリティデザイン 横浜
代表取締役

石原 健

Profile > 桜美林大学経済学部卒業。日本ホテルスクール卒業。ホテル産業経営塾卒塾（第一期生）。ホテル センチュリー ハイアット勤務後、1989 年、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルの開業準備室に第 1 期生として入社。国内外からの VIP 対応等で、4 度にわたる皇室接遇担当の栄誉も授かる。ウェスティンホテル仙台を経て、2014 年、(株)ホスピタリティデザイン 横浜を設立し、代表取締役。厚生労働省事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会 会長、HSN 会顧問、産業能率大学兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。

